

私のリーダー論

耳痛くなる質問を

国際社会で日本に求められるリーダーシップとは何か。日米交流機関「ジャパン・ソサエティ」はトランプ米政権がもたらす不確実な世界でこそ日米関係の強化をめざす。ジョシユア・ウォーカー理事長(44)は日本の発信力を引き出すためには、あえて耳が痛くなる質問で気づきにつなげるのが大切だと説く。

「(米調査会社の)ユーラシア・グループに所属していた際は地政学的課題を議論する『GZEROサミット』日本版を統括しました。世界最大級の地政学的会議として定着し、日本の国際イベントの中でも際立つ存在となりました。経団連、経済同友会、経済産業省と連携し、私も議論に参加しました。日本の視点で語られる場を創出できたことは大きな誇りです」

「2019年にジャパン・ソサエティ理事長に就きました。100年以上の歴史で最年少だったからこそです」

「日米の文化交流を進める団体を率いるには駐日大使館経験者など実績のある人が適任だと考えられていたはずで

「私が日米関係の分野でリーダーでいられるのは、グローバルな視点で日本の役割を理解しているからです。多くの日米関係者は、両国の関係だけに焦点を当てますが、私

は日本がアフリカ支援で他国とどのように違いを出せるかといったことに注目しています。トルコで地震が起きた際の災害支援なども見えてきました」

「世界で日本人が活躍するためにはどうすべきでしょうか。」

「日本人であることは何を意味するか考えたことがありませんか。米国人の生きがいは何かと聞かれたら、自由だと答えるでしょう。英国から渡ってきた建国の祖たちは王制を排除し、個人の権利を求めました。自由を切望してきた自負があります」

「米国では国境問題などで議論を戦わせているさなかですが、日本のリーダー層は国の未来について十分に議論をしているでしょうか。日本の友人として、ときどきこうした『不快』な質問もすることが大切だと考えています」



国際政治学者のイアン・ブレマー氏(左)とはジャパン・ソサエティのイベントでも討論する関係だ

若い世代と交流、自らの刺激

「博士課程ではオスマン帝国と大日本帝国を比較研究しました。西欧に敗北したあと、近隣諸国とどう関わり、自国の歴史をどう捉えているのか。歴史を深く理解すること

「私が日米関係の分野でリーダーでいられるのは、グローバルな視点で日本の役割を理解しているからです。多くの日米関係者は、両国の関係だけに焦点を当てますが、私

「私が日米関係の分野でリーダーでいられるのは、グローバルな視点で日本の役割を理解しているからです。多くの日米関係者は、両国の関係だけに焦点を当てますが、私

「私が日米関係の分野でリーダーでいられるのは、グローバルな視点で日本の役割を理解しているからです。多くの日米関係者は、両国の関係だけに焦点を当てますが、私

「私が日米関係の分野でリーダーでいられるのは、グローバルな視点で日本の役割を理解しているからです。多くの日米関係者は、両国の関係だけに焦点を当てますが、私

ジャパン・ソサエティ理事長
ジョシユア・ウォーカー氏

リーダーを目指すあなたへ

大切なのは、好奇心を持ち続け、忍耐強くあることだ。肩書や明確な方向性がなくても、予期せぬ形でリーダーシップを求められることがある。常に最善を尽くし、改善していく姿勢があれば、道は開ける。

「今の日本の米国との向き合い方をどうみますか。」

「日本は米国にとって最も重要な投資家、雇用創出国、そして同盟国です。にもかかわらず、アピールが足りてい

「私が日米関係の分野でリーダーでいられるのは、グローバルな視点で日本の役割を理解しているからです。多くの日米関係者は、両国の関係だけに焦点を当てますが、私

「私が日米関係の分野でリーダーでいられるのは、グローバルな視点で日本の役割を理解しているからです。多くの日米関係者は、両国の関係だけに焦点を当てますが、私

民間主体の外交足りず

「外交だけでなく、ビジネス界のリーダーも重要な役割を果たすべき地合いになっていますが、自分の話をするのを苦手としていると、トランプ氏の任期の4年間は厳しい道が待っているでしょう」

「ビジネス界にも課題がありますか。」

「米大リーグで活躍する大谷翔平選手や米エミー賞受賞のドラマ『SHOGUN』将軍」は直近で米国社会でも注

「文化やスポーツで足並みはそろって見える一方、日本の多くの経営者は利益にはかり目を向けてしまい、政府間対話や公共外交を放置しているように感じます。かつてソニー(現ソニーグループ)の盛田昭夫氏や日立製作所の中西宏明氏が効果的に連携していたのに比べ、現在は経団連や経済同友会の動きもばらばらで、調整するリーダーが必ずしも必要です」



週末はバスケット指導

9歳の息子、7歳の娘と過ごすことがもっぱらの趣味だ。週末はバスケットボールやスノーボード、読書といった自身の趣味を子どもたちと一緒に楽しんでいる。学校や教会で見せる子どもたちのエネルギーに驚かされるという「仕事よりも疲れるね、と妻と笑い合う日々だ」。

息子のバスケットチームではアシスタントコーチも務める。毎週末、試合を指導する責任は大きい。「子どもたちとの時間をできる限り優先したい」。

「私が日米関係の分野でリーダーでいられるのは、グローバルな視点で日本の役割を理解しているからです。多くの日米関係者は、両国の関係だけに焦点を当てますが、私

「私が日米関係の分野でリーダーでいられるのは、グローバルな視点で日本の役割を理解しているからです。多くの日米関係者は、両国の関係だけに焦点を当てますが、私